

A2Care

ito'oshii with Science

花粉対策万全ですか？

外出時の対策は限られています。

大切なのは室内へ入った花粉の対応策です。

待ち遠しい春の季節とともに同時に訪れるのは花粉ですね。

予防策があまりなく、事後対策で悪化しないように防御することしかできないのもまた辛いところです。

花粉対策では当然マスクや眼鏡での防御と、目薬や点鼻薬で症状を緩和することが最も必要なことだと思います。

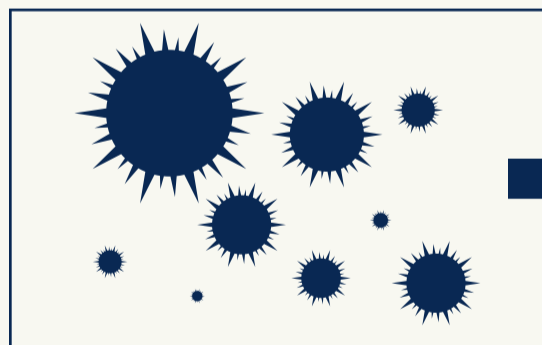
ですが、実は室内に入った花粉の対応策も非常に重要です。



一日の中で花粉を最もひどく感じる時間帯は「起床時」。これは「モーニングアタック」と言われる起床時にくしゃみや鼻水が止まらなくなる現象で、起床時は体が無防備で室内に侵入していた花粉を吸い込んでしまうことが原因の一つとされています。

室内への花粉の侵入経路は「玄関」「窓」「衣服」「洗濯物」が主だったところ。特に窓周りは、窓から30センチ以内の場所でベランダと同じくらいの量の花粉が検出された研究データもあるようです。花粉の時期はとにかく小まめに掃除することが室内で花粉を軽減させる基本です。花粉は、掃除せずにそのままにしておくと、乾燥して細かく砕けてハウスダストとして室内にとどまってしまう、花粉が砕けて小さい粒子になると、簡単な掃除ではなかなか除去できなくなります。室内のちょっとした日常動作や空気の流れで空気中に舞い上がり、落ちてくるまでに非常に時間がかかるため、屋外よりひどい環境になることも考えられます。そんな時は花粉への修飾効果のあるA2Careがオススメです。

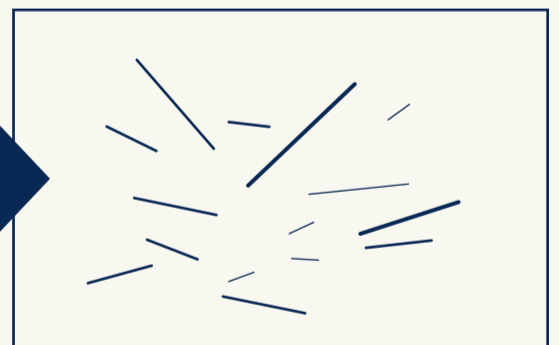
A2Careの花分分解イメージ



花粉のイガイガが粘膜に吸着。痒みや鼻水が発生。

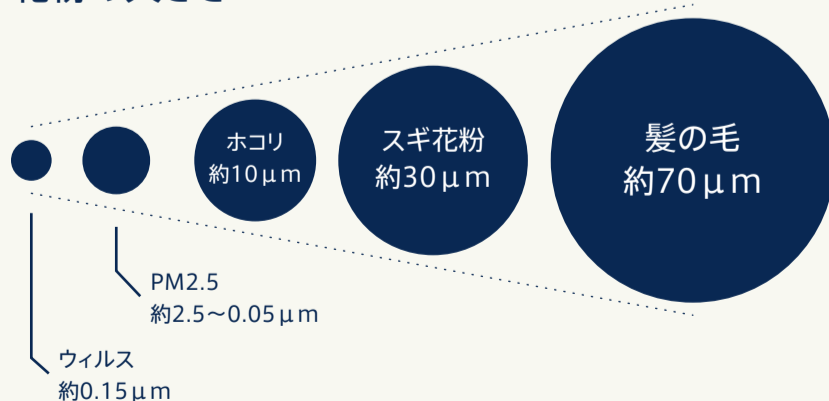


強力な酸化力!!



花粉の形状を修飾(変形)させ無害化する。

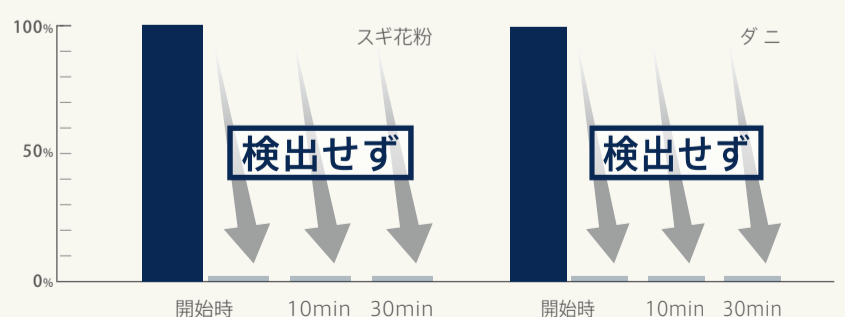
花粉の大きさ



※ 花粉・ダニ・ハウスダストは細菌と比較すると大きく重いため空気中に散布するより身の周りのものに直接噴霧する方が効果的です。

噴霧直後、花粉に接触したと同時に効果を発揮します。

- 試験目的：アレルギーへの評価
- 試験測定時間：0分 10分 30分
- 濃度：100ppm



試験機関 / 財団法人日本食品分析センター

※測定結果であり、病状の緩和を保証するものではありません。

花粉の時期にすべきこと ——

花粉は春(スギ)の時期だけではなく、秋(ブタクサや芝)の花粉に反応する方もいますが、室内に飛来してくるのはやはり春のスギ花粉です。

A2Careは徹底した第三者機関による人体及び周辺環境への安全性試験をクリアした花粉に効果的な商品です。

(人体への安全性は確認できておりますが化粧品・医薬部外品ではありませんので直接、皮膚等に使用することはできません。)



玄関はもっとも花粉がある場所ですので、玄関床はまんべんなく行き渡るように1mくらい遠めから噴霧してください。

帰宅時に玄関の外で着ている服をブラッシングしてから、特に肩・襟・袖の外側・胸あたりはまんべんなく噴霧すると良いです。帽子を被っていない場合は髪の毛も手で払いましょう。

外出の際にマスクの表裏にスプレーすると効果的です。

脱衣場所や洗濯機の周りも取りきれなかった花粉が落ちてますので噴霧してください。外から戻った時の靴は花粉だらけですから、帰宅したら必ず靴に噴霧が必要です。

※ 1日履いた靴は凄い臭いがするので、靴の中にも噴霧すると消臭にも効果的です。



室内に侵入した花粉の対処は掃除機をかける前に床に噴霧し、しばらくしてからモップなどで拭き取ってから掃除機をかける。逆にすると床の花粉は空中に飛散するため注意してください。

特に埃の溜まりやすい所(テーブルの足元、椅子やソファ、ベッドの表面など)には、満遍なく噴霧してから掃除機を掛けてください。掃除が終わったら、掃除機の中にも噴霧してください。

布製の背当てクッション、椅子のシートクッション、ソファなどは掃除後に噴霧します。

普段移動しない家具やテーブルの脚が着いた床付近は、細かな花粉やダストが残りがちなので、そこに噴霧しておくより効果的です。

窓を開けると窓周りやカーテンは特に花粉が多くなるので、窓枠と窓から30cmくらいの位置までは入念に噴霧しカーテンは窓側の面と縁を中心に噴霧してください。



標準使用量は、噴霧するものや場所によって変わりますが、1㎡あたり3~4プッシュが目安です。布団やパッド、ベッドマットなどは一回のプッシュ数を減らして何度か噴霧するとより効果的です。

消臭除菌したい所から20~30cm離して噴霧してしてください。表面がしっとり濡れたらしばらく放置して、室内を換気しながらしっかり乾かしてください(家具などはしばらく置いてから拭き取っても可)。

寝室での花粉やダストの溜まりやすい場所は、ベッドのヘッドボードとベッドマットの隙間です。

マットをズラしてヘッドボードと床板の接部分に噴霧してください。また、ベッドや寝室家具の足回りにも噴霧してください。寝具にカバーやシーツが掛かっているならばそのまま全面に噴霧すれば充分です。

眠っている時間は室内の空気が止まり、花粉やダストは床から35~40cmの高さに溜まります。部屋の空気が動く前に寝具の一番上に掛けているアイテムの表面に噴霧すれば毎日のケアになります。